

羽ばたけ通信 15号

編集・発行：
羽ばたけ鮎河自治振興会
事務所：鮎河地域市民センター内
TEL・FAX:0748-60-2721
E-mail:ayukahinkoukai@nike.eonet.ne.jp

145年の歴史に終止符！ 3/18 鮎河小学校閉校式挙行される

明治6年(1873年)からの鮎河小学校。昭和39年(1964年)開園の鮎河保育園の閉校・閉園式が行われました。卒業生や地域の人たち200名をこえる参加者のみなさんが思い出いっぱいの学び舎との別れを惜しまれました。18歳・56歳・88歳の卒業生、黒河望子さん、岡田重美さん、谷北嘉一郎さんが鮎河小学校で学んだ時の思い出を語ってくださいました。高校3年生の黒河望さんは学年たった1人、1人で迎えた卒業式の思い出を話され、この鮎河小学校での経験を糧にこれからの人生に立ち向かっていきたいと強く述べられました。

児童数の減少により平成27年の春から休校となっていて、今年度の卒業生や在校生のいないなかでの閉校です。閉校・閉園につきましては「地域として非常に大きな決断」をしたわけであり、閉校式での岩永市長さんの「市としても地域のみなさんとともにこれからのまちづくりに邁進していきたい」との挨拶にもありましたように、今後もこの鮎河が輝いていけるよう、自治振興会といたしましても、地域が一丸となって、また、市との連携をより密に進めてまいりたいと考えています。

閉校・閉園式に引き続き【あゆかわ文化祭】を開催しました。「ふらんし〜ず」さんによるハンドベル演奏・恩師大林源也先生には記念講演をしていただきました。思い出いっぱいの小学校、保育園の写真や作品なども多くの方々のご協力で展示させていただくことが出来ました。文化祭の展示は21日も公開、雨の中たくさんの方がお越しくださいました。出展いただいたみなさんたいへんありがとうございました。



再編協議会を代表して橋本警委員長
があいさつをされました。

鮎河小学校同窓会代表水上重彦さんによる校旗の返還



鮎河小学校時代の思い出を語られた
黒河望子さん



我が学び舎



あんしん部会

安心して暮らせる自然豊かな郷

★防災対策事業

①消火栓器具設置整備事業

平成二六年度より屋外消火栓ホースの整備を行っています。今年度は東野区格納箱二ヶ所のホースが新しくなりました。また、格納箱につきましてもすべてチェック、老朽化の激しいものから順次取替を進めてまいります。東野区一台、西野区一台を新しものと取替えました。格納箱の格納器具の点検は毎年、防災訓練時に実施しています。

②自主防災備品整備事業

鮎河防災隊・防災倉庫

備品につきましても、毎年少しずつではあります。今年度は災害に備えて、救急セット（二十人用）を二セット、災害用工具セット二種類（車載用・背負い式）を購入、防災倉庫に収納しました。



防災訓練・対策本部



防火水槽明示標識



③防災訓練

④防火水槽整備事業

一月二日（日）に全学区民対象の避難訓練を実施しました。区長・組長さんにご厄介になり、多くの人にご参加いただきました。終了後消防団は消火栓器具格納箱の点検、防災隊は防火水槽明示標識取替えを行いました。

★防犯対策事業

①防犯灯整備事業

防犯灯LED化最終年度、地域の防犯灯がすべてLEDに変わりました。来年度からは修繕等も対象にした本来の補助体系となる予定です。

★交通安全対策事業

①通行危険個所の整備

大きな段差があり、昼間でもうっかりするとタイヤを落としてしまう危険な所



があります。今年度は東野区一ヶ所・西野区一ヶ所に蛍光ソフトコーンを設置しました。みなさまの周辺で危険に感じてもらえる箇所がありましたらお申し出ください。少ない予算ではありますが、事故を未然に防ぐため検討させていただきます。随時進めたく思っています。

小倉勝徳様宅西側用水榭 公民館北側駐車場付近



日常生活に支障が起こり得る事態に備え、防災意識の高揚、地域のつながりを深め見守り支えあうまちであることを願ってあんしん・あんぜんなまちづくりを進めています。振興会の活動のなかでもたいへん重要な部分です。機械的な整備ももちろん不可欠ですが、もしもの場合に手を携えて行動できる災害に強いひとづくりも大切だと考えています。

★広報啓発事業

①ホームページ・ブログの更新

平成二六年一月より公式ホームページ & ブログを開設しています。今年度更新が滞っていたことをお詫びいたします。

②羽ばたけ通信の発行

今年度二回発行（七月・三月）

★戦没者追悼事業

①学区慰霊祭の挙行

八月二〇日（日）鷹尾山で行いました。高齢化等で年々ご遺族の参加が少なくなるとなれた戦没者をお慰めする慰霊祭を続けてまいります。

咲くや鮎河さくらまつり

いよいよさくらまつりが近づいてまいりました。

今ところ四月七日（土）よりツアー

の観光バスが多数入ってくる予定となっています。まつり開催日の一四日（土）一五日（日）は小倉木材（株）さんのソッチヤ資材置場、まつり以外の日は県道九号、県道五〇七号交差点付近の駐車場を利用されます。また今年の駐車場の運営は観光バスについてはすべて甲賀市観光協会が、また、一般車につきましてもまつり開催日以外は甲賀市観光協会となります。いずれにいたしましてもさくらの期間中地元車両の通行に支障をきたす場合が生じることが予測されます。



また、騒音、放置ごみの問題も起こり得るかもしれません。何とか無事この季節乗り切りたいものです。

人・地域が煌めき、賑わいのある郷

桜海によみがえる鮎河の城事業

毎年盛夏の七月末栖碧院檀家のみなさんに黒川氏城跡・主郭の草刈りをお厄介になっていきます。鮎河城伝承地公園の除草などは東野第六組でお世話いただいています。自治振興会では登山道の草刈りなどを行っています。平成二六年度、二七年度地域問題解決のための提案型モデル事業で取り組みました鮎河の城事業、平成二八年度より、きらめき部会の事業として行っています。地元のみなさんに城跡のことをもっともっと知ってもらって、登っていただくにはどうしたらよいか悩むところです。

今年度は一月二六日(日)「黒川氏城跡登山と北山林道ウォーク」を実施いたしました。約一〇キロメートルのコースでしたが、みなさんは疲れもなく楽しんでおられました。大河原では「もみじまつり」が開催されていて、いろいろと催しものがありました。鮎河の四つの城跡制覇を目指し、毎年計画させていただこうと考えていますので、まだ未参加の方、次回はぜひ、自分の住んでいるまちの歴史を知るため登ってみてください。



きらめき部会では大きなスクリーンでゆっくり映画を楽しんでいただくことと二回映画会を開いています。

●九月九日(土) 鮎河小学校体育館

【ウツジョブ 神去なあなあ日常】

都会育ちの青年が、鮎河のようなコンビニもない、森で働くことになり……三重県美杉でロケされた映画、背景が同じでたいへん共感できるものでした。

●二月一日(日) 東野集落センター

【いつまた、君と 何日君再来】

戦中、戦後の困難な時代を明るく生き抜いた家族の記録「どんなに貧しくても、父ちゃんとなら、笑顔で乗り越えられた」

東野サロンのみ

なさんに多数ご参加いただきました。毎年楽しんでおられます。



心豊かな人が育ち、生き生きと暮らせる郷

★人権啓発事業

●人権巡回講座

休園中の鮎河保育園に於いて一月九日(日)の学区ふれあいサロン時に行いました。甲賀市人権推進協議会信楽支部啓発部会によります朗読劇「今までのまなんだな!ほんまにありがとう」でした。地のことはで解りやすく、たいへん勉強になりました。

●男女共同参画事業 男性の料理教室

“男子厨房に入りましょう!”

簡単・うまい・男の料理、振興会開設以来毎年実施しています男性のための料理教室。今年度は一杯の充てとして楽しく作っていただける料理、串カツなどの実習となりました。三、四年連続の参加者もおられ手際よく進みました。料理ができるようになりたい、何か新しいことがしたいと思っておられるあなた、次回お待ちしております。

★青少年育成事業

●鮎っ子親子活動

八月二一日(月)鮎っ子夏のついでをダイヤモンド滋賀の施設を利用して開催しました。宿題の心配も一時忘れ、保育園児から中学生まで家族で楽しい時間を過ごされました。

★福祉対策事業

●福祉機器整備事業

ローテーションで今年度は東野区、集落センターにお掃除ロボット・ルンバくんを置かせていただきました。充電が外れていた?こともあったようですが、現在活躍中です。

★高齢者活性化事業

●学区敬老会

鮎河学区挙げての一大イベント、敬老会は九月二四日(日) 鮎河小学校体育館に敬老者七九名を含め一四〇名が集まりました。出席者の最高齢は九二歳の林さん豊饒としておられます。みなさんお元気で楽しいひと時をお過ごしただいたことスタッフ一同たいへんうれしく思っています。次回もぜひお越しください。



激ウマ串カツソース

- 赤ワイン 80cc
- ウスターソース 300cc
- ケチャップ 大さじ1
- とんかつソース 大さじ2
- ざらめ 大さじ1
- かつお出汁 80cc



思い出の校舎(園舎)からの地域おこし事業

平成二九年度甲賀市地域問題解決のための提案型モデル事業(自治振興会と市が協働で取り組むことが出来る事業)に応募し、「思い出の校舎(園舎)からの地域おこし事業」を実施しました。

今ある暮らしの拠点(小学校等)を活用し、顔の見える関係を築きながら日常生活に必要な機能や賑わいを創ることで、人口減少が進む中でも、

地域の人々が持つ不安を安心に変える取り組みを考えていくことを目的に行いました。

◎アドバイザーチーム会議

(地域づくりの諸問題を検討、自治振興会に対して提案を行う組織)

- 第三回 六月 五日(月)
- 第四回 八月 三日(木)
- 第五回 一〇月三〇日(月)

先の地域づくりアンケートや地域づくり懇談会、保護者会での意見交換、ピクニック等の結果を踏まえ、第四回の会議では、アドバイザーチームからの提案書としてまとめていた

きました。一〇月六日には小学校・保育園再編検討協議会が発足、地域のみなさんからのご意見、ご提案をもとに検討が進められています。

◎鮎河小学校・鮎河保育園活用ピクニックミーティング 七月 八日(土)

◎岩永市長さんとの交流会、鮎河学区ふれあいサロン(いきいき部会事業) 七月二三日(日)

◎「集落ぐるみの鳥獣害対策」

サル・シカ・小動物の被害対策について甲賀市獣害対策課中川課長補佐さんのお話を聞きました。

◎寄せ植え(プランター)作製、配布 一〇月二三・二四・二六日

平成二七年一〇月の地域づくりアンケート実施以来、何かと意見をお伺いする機会を設け、地域のみなさんには

多大なご協力をいただきました。これまでのご協力への感謝をこめ、各区のサロン参加者にご無理を願



大河原サロン



東野サロン

い、お作りいただいた寄せ植えを各戸にお配りしました。シクラメンまだ頑張つて咲いていますか?

◎鮎河学区ふれあいサロン(いきいき部会事業) 一二月一九日(日)

◎役員・アドバイザーチーム研修

(再編検討協議会との合同研修)

研修先 兵庫県淡路市

★のじまスコラ

パソナグループの「地方創生プロジェクト」が全国一〇ヶ所で展開されているなか、のじまスコラは地方における観光地創出事業で、旧野島小学校をリノベーションし、

二〇一二年にオープン、姉妹店も含め年間の来場者は二〇万人を超える施設となっています。

パソナが二〇〇八



年農業ベンチャー支援制度を開始してチャレンジ農場を野島地区で実施、農業の人材育成を手掛けられていたところ二〇一一年六月閉校施設の有効利用し得る民間事業者を募る公募がなされたので、事業提案を行い、採択されたことになりました。

明石海峡大橋を渡れば神戸という立地で鮎河を同じようにとらまえることはできませんが、今後の方向性を考える良い機会となりました。

★ノマド村

二〇〇九年三月に閉校になった学校施設でアーティストコミュニティから現在はハタラボ島の拠点施設となっています。

※ハタラボ島→淡路島を中心に働く力づくり(研修)はたらく仲間づくり(採用支援)を通して、はたらく人を支え、新しい「はたらく」をつくっていく事業。その「はたらく拠点」第一号

◎鮎河小学校・鮎河保育園閉校閉園式 三月一八日(日)

◎あゆかわ文化祭

(いきいき部会事業) 三月一八日(日)・二一日(水)